

**編集部** 滑稽俳句を始められたきっかけは？

**荒井** 昨年十月、俳句番組を観たのがきっかけで俳句を始めました。拙句が、金子兜太選で東京新聞に掲載され、いよいよきちんと勉強せねばと、渉猟している過程で「滑稽俳句」に出逢いました。

**編集部** 滑稽俳句の魅力とは？

**荒井** ①権威・権力を笑い飛ばせる。②自虐ネタの句をつくる時に自分を客観視できる。③普通の人の「アルアル」ネタに笑いをみつけられる。④人間の心の深淵に迫るよすがとなる。⑤脳が活性化される。⑥笑える句を作ろう、人を笑わせよう、という態度が人生を豊かにする。⑦ものした句が受ければ「悦び」であり、受けなかったら「次は」の意欲がかきたてられる。⑧地口・ダジャレも「滑稽」の一要素。ダジャレ好きには魅力的です。

**編集部** 俳句における「滑稽」とは？

**荒井** 滑稽の本質は人間性への洞察だと思います。

**編集部** 滑稽俳句を続けて良かった事は？

**荒井** 続けて良かったと言えるほどの俳句歴がありませんが、強いて言えば、「滑稽は行く！（滑稽俳句）」というようなことがスグに出てくるようになったことでしょうか。

**編集部** 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

**荒井** 人間性への洞察を深めること。やはり、小手先ではなんともならないと思います。

#### 【代表句】

霜柱土もちあげる平和かな  
ぶらんこのぎいこふわりに空ゆれる  
蝶ひらり猫の一撃かはしけり  
山笑ふ子の生まれざる村もあり  
ケチャップやケチャの激しさバリの春